

第5回飯山市環境審議会次第 順末

日時 平成23年9月29日(木)午前10時
場所 飯山市役所4階 第1委員会室
欠席委員:4名

1 開 会

(会長) 好天が続き収穫に良い日が続いていたが、最近は急に寒くなってきたので、体調を整え過ぎていただきたい。

2 審 議

(1) 庁内検討案(1回目の修正案)について

(事務局) 資料5-3と5-4をご覧いただきたい。前回の審議会で提言いただいたことを踏まえ、1回目の庁内検討案として提出するので、ご意見をいただきたい。

・「資源循環」分野

(資料5-3を参照)

・「環境保全活動・環境教育」分野

(資料5-4を参照)

(2) 庁内検討案(2回目の修正案)について

・「生活環境」分野【資料5-1】

■2-1 水環境

(委員) 全体的に字と図表ばかりで読みにくい。節ごとにその分野の環境負荷や課題がわかる『環境側面図』のようなイラストを入れてはどうか。例えば色々な企業のホームページ等にも環境対策ページ等でよい図があるので参考にしてほしい。

(委員) P2の図2のグラフが白黒のときにわかりにくいので、改善を。

(委員) P1でBODの用語説明を。

(事務局) それぞれ対応する。

■2-3 公害防止

(委員) P3「中野市に一般環境大気測定局が設けられている…」とあるが、具体的にはどこになるか。々市内でも交通量などで大きく変わるとと思うので、具体的に所在地がわかったほうがいいと思う。

(事務局) 確認して所在地がわかるようにする。

■2-6 放射能汚染による被害防止

(事務局) P6から放射能対策を新たに追加しているので意見をいただきたい。

(委員) P6の最下段に「万が一事故が発生した場合の対応についても準備を…」とあるが、事故前提でなく、「発生しないよう働きかけを…」などにしたほうが良いのでは。

(委員) 賛成。事故が起こってしまえば廃墟になる可能性もある。

(委員) 予防と対応、どちらか一方ではなく両方必要では。

(事務局) 追加する形で対応する。

(委員) P7の図もあるが、「ベクレル」「シーベルト」など単位がわかりにくいので説明がほしい。

(事務局) 対応する。

・「快適環境」分野【資料 5－2】

■3－1 土地利用

(事務局) P2 の耕地面積推移のグラフだが、出典が書いていないがこれは農林業センサスの数値をグラフ化したもの。これを見ると年々耕地面積が減少し、耕作放棄地が増えていることがわかると思うが、原因としてはこの統計調査自体が農家が回答した結果なので、例えばもともと農地だが原野化してしまった場所などは、農家が認識していないことで農地の面積に入っていない可能性がある。いずれにしても経営耕地面積が減っていることは間違いない。

■3－2 道路・交通

(委員) 水を透過させる親水性の舗装を広げる様な対策を取っていただきたい。市内でも新しい店舗などで少しずつ見られるようになってきたが、まだまだ少ない。

(事務局) 新たにその部分を追加するように検討する。

(委員) 補助金制度もあると聞いてるので確認してほしい。

(委員) P2 の市道舗装率についての記述は、「農地・山間地域などの未舗装路も…」という記述は詳細すぎるので削除し、生活道路についての記述だけあればよいと思う。

(事務局) そのようにしたい。

■3－3 快適環境

(委員) オオルリシジミはこの節では触れないのか。

(事務局) 自然環境の節で触れることとした。

(委員) 重要文化財等の一覧表で所在地に誤りがある。

(事務局) 確認して修正する。

【3－4 景観】

(委員) 土地利用でも問題となったが、空いている畠とか手の入らない森林とかそういった土地を、市で有効活用する予定はないのか。食は一番大事な部分なので、お金がかかってでも農業を盛り上げるような施策も必要ではないか。建物だけに多額のお金をかけるのではなく、雇用を生み出すようなことも市としてぜひ考えていただきたい。

(事務局) こうした問題は以前より課題となっているが、国や県も関係しており、市単独で取り組むというのは難しい問題。また行政だけでなく、市民や農家の方にやってもらわなくてはいけない部分もある。また景観と農業ということで、市の中でも部署がまたがっており、各課で支援策をしているが効果的に推進できていない事情もある。

(委員) 先日福島の棚田で地元公民館でかかしを立てたということで写真を撮りに行ったが、ある場所は地元保存会の手により大変きれいに保全されており、それが少し離れた場所の棚田は手が回らずススキが茂っている所がある。

【3－5 景観】

(委員) 集落のお宮の役割はとても大きいと感じる。どこのお宮もしっかり整備されている。

(3) 環境に関する市民アンケート調査の結果（速報版）について

(事務局) 資料5－5をご覧いただきたい。審議会で提言いただき、8月に震災後の意識変化に関するアンケートを実施し、今回、速報版という形でまとめたもの。対象人数は2月の市民アンケートの半分の500名で、回収率は37.6%であった。

問8では環境問題について「身近に感じるか」「関心があるか」について2月のアンケートと比較したが、概ね8月の回答のほうが関心が高い結果となった。

問9の「環境のために実行しているか」は、概ね2月と変わらない結果となった。

問10～の放射能問題についてどの設問も関心が高い結果となった。

最後に自由意見をまとめてあるので、各自ご覧いただきたい。

(委員) 結果を見ると、震災後に意識の変化があったと感じる。

（4）「個別目標と環境施策」への提言

（事務局）資料5－6をご覧いただきたい。本日までの審議会で第2章の現状分析の部分はすべて提言をいただいた。この資料には、これまでの審議会で各委員から今後の取り組みに対する提言としていただいたものをまとめたもの。ここに本日の提言を追加し、庁内各課で目標や取り組みを検討するに当たり参考とさせていただく。追加の提言あれば、10月12日までに事務局へ連絡いただきたい。

（5）その他

（事務局）今年9月より、市では透明性の向上と市民の皆様の市政への理解と信頼を深め、開かれた市政の一層の推進を目的として、各審議会等を原則公開することとした。環境審議会も基本的に公開することとしてよろしいか。

（委員一同）了承。

（事務局）審議会で意見があった中高生へのアンケートだが、現在、市内中学校で取り組んでいただいている。高校へはこれから依頼したい。

また次回審議会は10月27日（木）10時より、となるのでお願いしたい。

3 閉 会